

# 防災推進国民会議の活動報告

---

令和 6 年12月19日  
第10回防災推進国民会議



# 防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）2024開催概要



国民の防災意識向上のため、防災に関する活動を実践する多様な団体・機関が一堂に集う「防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）2024」を実施。今大会は熊本地震から8年目、令和2年7月豪雨から4年目の熊本県で開催。

## 大会概要・内閣府主催セッション

**テーマ：**復興への希望を、熊本から全国へ  
～伝えるばい熊本！ がんばるばい日本！～

**日時：**2024年10月19日（土）・20日（日）

**開催地：**熊本県 熊本市 熊本城ホールほか

**主催：**防災推進国民大会2024実行委員会  
(内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議)

**実績：**出展数 **404団体(22)** ※()内はオンライン視聴の内数  
(セッション:52(8)、ワークショップ:29、ブース展示:113(14)、  
ポスター展示:102、屋外展示:77、ステージ発表:28、オリジナル企画:3)

現地来場者数 **約17,000人**

オンライン視聴数 **約12,000回**

**併催：**「世界津波の日」2024高校生サミットin熊本



坂井大臣開会挨拶  
(オープニング)



**オープニング 基調講演**  
有浦元熊本県危機管理防災企画監  
「熊本地震を振り返って  
—熊本地震までの準備と対応の教訓」



**クロージング「未来へ向かって」**  
(地元高校生によるぼうさいこくたいの感想・今後の防災への想いを発表)

## ハイレベルセッション 「熊本地震とその後の復興と災害への備え」



(司会) 時事通信社  
客員解説委員  
中川氏



前熊本県知事  
蒲島氏



元熊本副市長  
高田氏



熊本大  
竹内教授



KVOAD  
樋口氏



RSY  
浦野氏

## 他のプログラム例

○セッション 特定のテーマについて有識者等が議論。



災害廃棄物対策に関する議論



災害時の食料支援の状況に関する  
パネルディスカッション

○オリジナル企画 出展タイプに拘らない自由な出展形態。



地震ザブトンの展示・体験



出展者による30秒スピーチ  
(大交流会)



TEAM防災ジャパンメンバーにより  
設定されたテーマに基づくセッション

○ステージ発表

28の出展団体が、2会場に分かれてステージ発表。

○ワークショップ

カードゲームや、ボードゲーム、かるた等、来場者に参加いただき、楽しく防災を学んでいただくプログラムを実施。

○屋外展示（テント・車両）

災害用トイレや、災害医療トレーラー、キャンピングカー、地震体験車、救助関係車両等を展示。



○ブース展示・ポスター展示

各団体等の活動をブースやパネルで紹介。



# 火山防災に関する普及啓発



令和5年に活動火山対策特別措置法の一部が改正され（令和6年4月施行）、8月26日が新たに「火山防災の日」と定められたことを踏まえ、国民の火山防災意識の向上・定着に資する普及啓発に取り組んだ。

## ○「火山防災の日」制定記念イベントの開催

令和6年に改正活火山法が施行され、8月26日が「火山防災の日」に制定されたことを踏まえ、国民の間に広く活動火山対策についての関心と理解を深めるようにするため、「火山防災の日」制定記念イベントを開催。

### ＜開催概要＞

- ・日 時：8月26日（月）15:00～17:00
- ・主 催：内閣府（防災担当）、火山防災強化推進都道府県連盟  
（共催：火山調査研究推進本部、気象庁、国土地理院、火山防災強化市町村ネットワーク）
- ・開催場所：砂防会館（オンラインによる同時配信）
- ・開催内容：「いま、私たちにできる火山防災対策とは？」をテーマにトークセッションを実施
- ・参加者：会場観覧118人、オンライン323人 計441人

## ○「火山防災の日」普及啓発コンテンツ

- ・活動火山対策についての関心と理解を深めるようにするため「火山防災の日」普及啓発コンテンツを作成。
- ・令和6年版防災白書の特集として「火山」を記載。
- ・Instagramにて「火山防災の日」アカウントを開設し、「火山防災の日」ポスターやイベント情報等をはじめ、火山の魅力について随時投稿。



Instagramアカウント  
QRコード



火山防災の日  
ポスター一覧

「火山防災の日」ポスター

### ＜8月26日「火山防災の日」の由来＞

国民の間に広く活動火山対策についての関心と理解を深めるため、8月26日が新たに「火山防災の日」と定められた。これは、日本で最初の火山観測所が浅間山に設置され、観測が始まった日である明治44年（1911年）8月26日が由来となっている。国及び地方公共団体は、「火山防災の日」には、防災訓練等その趣旨にふさわしい行事が実施されるように努めることとされている。



浅間火山観測所

令和5年に活動火山対策特別措置法の一部が改正され、今年から8月26日が「火山防災の日」になりました。「火山防災の日」を通じて火山の魅力・恩恵を知っていただき、火山災害に備えていただけるよう、「いま、私たちにできる火山防災対策とは？」をテーマに基調講演・トークセッションを行います。火山研究の現状や課題、各地における火山防災対策の取り組み等について触れながら、火山災害への備えについて一緒に考えましょう。

会場観覧及びオンライン視聴希望者はWEBフォームからお申し込みください。  
申込期間 ▶▶▶ 8/23 12:00まで

**開催内容**

15:00 開会挨拶  
松村祥史 内閣府特命担当大臣（防災）

15:05 祝辞  
火山噴火予知・対策推進議員連盟 会長 古屋圭司 衆議院議員  
事務局長 赤池誠章 参議院議員

15:15 基調講演  
藤井敏嗣（火山調査研究推進本部政策委員会 委員長）  
①-テーマ 日本火山研究の現状について  
取組紹介①  
気象庁長官 森 隆志  
②-テーマ 気象庁における火山監視の現場について

取組紹介②  
火山防災強化市町村ネットワーク 会長／鹿児島市長 下鍋隆央  
③-テーマ 火山防災トピシティを目指して

15:45 事例紹介  
杉本伸一（雲仙島災害記念館 館長）  
④-テーマ 火山災害経験者として語る「火山」とは？

15:55 トークセッション  
⑤-テーマ いま、私たちにできる火山防災対策とは？  
⑥-質疑  
モデレーター  
岩田孝仁（静岡大学特任教授）  
パネリスト  
清水 洋（火山調査研究推進本部火山調査委員会 委員長）  
杉本伸一（雲仙島災害記念館 館長）  
佐々木美穂子（洞爺湖有珠火山マスター）  
釈由美子（タレント）

16:55 閉会挨拶  
火山防災強化推進都道府県連盟 代表幹事／山梨県知事 長崎幸太郎（代理） 副知事 大久保雅直

17:00 閉会

砂防会館（別館：運・信濃）  
地下鉄 本町駅（有楽町線・千代田線）南口徒歩4分（徒歩1分）もしくは 本町駅西口（有楽町線）徒歩5分（徒歩1分）

登山愛好家である  
釈由美子さんが登壇!!

会場観覧のみなさんに  
火山グッズをプレゼント

# 津波防災に関する普及啓発



11月5日の「津波防災の日」・「世界津波の日」にスペシャルイベントをオンラインにて開催し、津波防災の意識の向上と適切な避難行動の定着を図った。

(参考) 政府としては「津波防災の日」を中心に、内閣府と地方公共団体の共催による「地震・津波防災訓練」を全国8か所を実施。

## 令和6年度「津波防災の日」スペシャルイベント

【日時】 令和6年11月5日（火）13:30～16:00

【開催形式】 オンライン（YouTube）開催

### 【プログラム】

開会挨拶 坂井 学（内閣府特命担当大臣（防災））

#### 基調講演

「能登半島地震、南海トラフ地震臨時情報発令等を踏まえた津波への備え」

講演者 今村 文彦（東北大学 災害科学国際研究所 教授）

#### 事例紹介

三重県大紀町錦地区 ほか

講演者 中世古 二生（元大紀町防災安全課長・前岐阜県立看護大学非常勤講師）

#### パネルディスカッション

「能登半島地震、南海トラフ地震臨時情報発令等を踏まえた津波への備え」

モデレーター 西澤 雅道

（内閣府政策統括官（防災担当）付企画官（普及啓発・連携担当））

【アーカイブ】 津波防災特設サイト：<https://tsunamibousai.jp/>



開会挨拶（坂井防災担当大臣）



基調講演（今村 文彦 教授）



パネルディスカッション

## <参考> 政府としての取組



内閣府・地方公共団体共催 地震・津波防災訓練（令和6年度）

### 目的・内容

#### 目的

住民等が参加して、避難訓練等を行うとともに、ワークショップを開催することで、発災時の人的被害の低減と災害対応力の向上を図ります。

#### シェイクアウト訓練

訓練開始の合図を受けて、1分から数分間、自らの身を守る安全確保行動を実施します。

#### 津波避難訓練

防災行政無線による情報伝達訓練等を活用し、最寄りの避難場所等へ避難を行います。

#### ワークショップ

【訓練前】発災時に、住民が自ら考えて避難行動を取ることができるよう、地域のリスクや避難計画等を学びます。

【訓練後】訓練結果を踏まえて、見つけた課題や今後の訓練に向けた改善方策等について検討します。



# TEAM防災日本の概要



○TEAM防災日本は、全国各地で活躍する多様な防災の担い手を育成・応援するための人材ネットワーク。防災の担い手に有用な情報をポータルサイト等で紹介するほか、オンラインも活用して参加者の交流・情報交換を行っている。

## 【ポータルサイト】



つながる力が、  
未来を守る



TEAM防災日本とは、  
内閣府と連携して、全国各地で活躍する多様な防災の担い手を  
育成・応援するための人材ネットワークです。

## 防災活動のご紹介

2024.11.26 NEW  
NAA・JAL・慶應義塾大学が12月6日に成田空港にて初の地面防災演習を実施

2024.10.30  
令和6年度 地区防災計画の作成に関する基礎研修会

2024.10.30  
令和6年度「津波防災の日」スペシャルイベント

2023年 関東大震災 100年

内閣府 防災情報 ページ

北海道・三陸沖後地震注意情報の解説ページ

南海トラフ地震臨時情報が発表されたら！(南海トラフ地震臨時情報の解説ページ)

特別研修企画  
東日本大震災から10年

11月5日 津波防災の日

みんなをまっくも  
地区防災計画

防災計画ライブラリ

全社協 被災地支援・災害ボランティア情報

JVOAD 特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

内閣府 Cabinet Office 令和6年版 防災白書

<https://bosaijapan.jp/>

## 【メールマガジン・SNS】

- 全国の防災の担い手に向けて、有益な情報を定期的にお知らせするメールマガジンを発行（登録者数：約1,842人 令和6年11月末現在）
- SNS（Facebook、Twitter）でも情報発信。

## 【参加者同士の交流・情報交換】

● **ぼうさいこくたいでの交流**（令和6年10月19日（熊本市国際交流会館））  
全国の防災の担い手同士のつながりを促進すべく、ぼうさいこくたい2024の開催に併せて、TEAM防災日本のアドバイザー等が中心となり、オリジナルプログラムを企画。

- セッション① 個別避難計画の最前線～地域で、保健で、福祉で、学校で～
- セッション② 能登半島地震・南海トラフ臨時情報と耐震化・まちづくり
- セッション③ 大災害時の自治体間連携～対口支援と女性派遣を中心に～



- **大交流会** ぼうさいこくたいの出展者同士の交流促進。約100団体が、ステージ上で持ち時間25秒で団体紹介を実施。

